

平成25年7月17日

自由民主党 絆

代表 松浦 輝幸 殿

八代市議会自由民主党 絆

管外行政視察

復命書

視察期日：平成25年7月1日（月）～3日（水）

視察先：豊島区 【東京都】
中野区 【東京都】
立川市 【東京都】
農林水産省・国土交通省 【東京都】
(政府要望)

参加者：

議員 松浦 輝幸



議員 鈴木田 幸一



議員 橋本 幸一



議員 福嶋 安徳



議員 前川 祥子



会派 自由民主党 絆 行政視察復命書

議員名【 前川 祥子 】

- ◆視 察 日：平成 25 年 7 月 1 日（月）
- ◆視 察 先：東京都豊島区
- ◆調査項目：巣鴨地蔵通り商店街について

◎商店街の概要

「おばあちゃんの前宿」と呼ばれる巣鴨地蔵通り商店街は、江戸
の中期から現在に至るまで、商業や信仰の場として栄えてきた。
お寺あり、露店ありとお年寄りを中心に多くの人々でにぎわい、
古き良き日の風景と文化を守りながら、人に優しい昔ながらの商
人のおもてなしの心を大切にされている。

◎事業実績

縁日（毎月 4 日、14 日、24 日）

ザ・DON がら（3 月中旬、10 月中旬）

すがも朝顔まつり（7/2～4）

すがも菊まつり（11/6～15）

すがも商人まつり（6 月上旬）

巣鴨納涼盆踊り（7/28～8/1）

これらは、豊島区の補助金をうまく活用されている。

◎区民からの評価

豊島区には全部で94の商店街があるが、ここは、豊島区を代表する商店街で全国各地から来訪者が訪れ、区民からも高い評価を得ている。

商店街が評価されている理由は、商店の品ぞろえが多く、低価格で販売しているお店が多い。また、年間を通じて商店街のイベントを多く実施し、近年では若い人を対象としたおしゃれなお店も出店しており、高齢者のみならず、若者や家族連れの来街者も増えている。

◎商店街の課題

来街者は増加しているが、各店舗の売り上げが伸びておらず、集客力の向上をいかに個店の売り上げに結びつけるかが課題。そこで平成24年度に豊島区の商店街振興事業補助金を活用し、商店街ホームページをリニューアルし、情報提供の充実を図っている。また、商店街のイメージキャラクター「すがもん」を扱った商品を販売したり、各種商店街イベントに登場させ若者客の獲得にも力を入れている。

会派 自由民主党 絆 行政視察復命書

議員名【 鈴木田 幸一 】

- ◆視 察 日：平成 25 年 7 月 2 日（火）
- ◆視 察 先：東京都中野区
- ◆調査項目：すこやか福祉センターについて

限られた市の予算の中で、これからの福祉サービスを進めていく事は、効果を前提に考えなければならず大きな課題である。

東京都中野区にある「すこやか福祉センター」は、廃校になった仲町小学校を改装し利用してあった。区民からの要望に応じてあったもので、対応に早さと方向性は的を得たものである。

建物の改修工事費に 8 億円を使ってあった。ただ、地理的には決してよい条件だとはいえない。駐車場は狭すぎるし、場所も住宅の中にあり分かりにくい。また、利用してほしい会議室を埋めるだけの団体育成にも問題があるように感じた。

これからは、保健と福祉の拠点として利用されると思うが、八代市にも何箇所か欲しいような施設であった。

地域防災計画について（立川市） 7月2日午後1時～2時30分

1 計画の概要

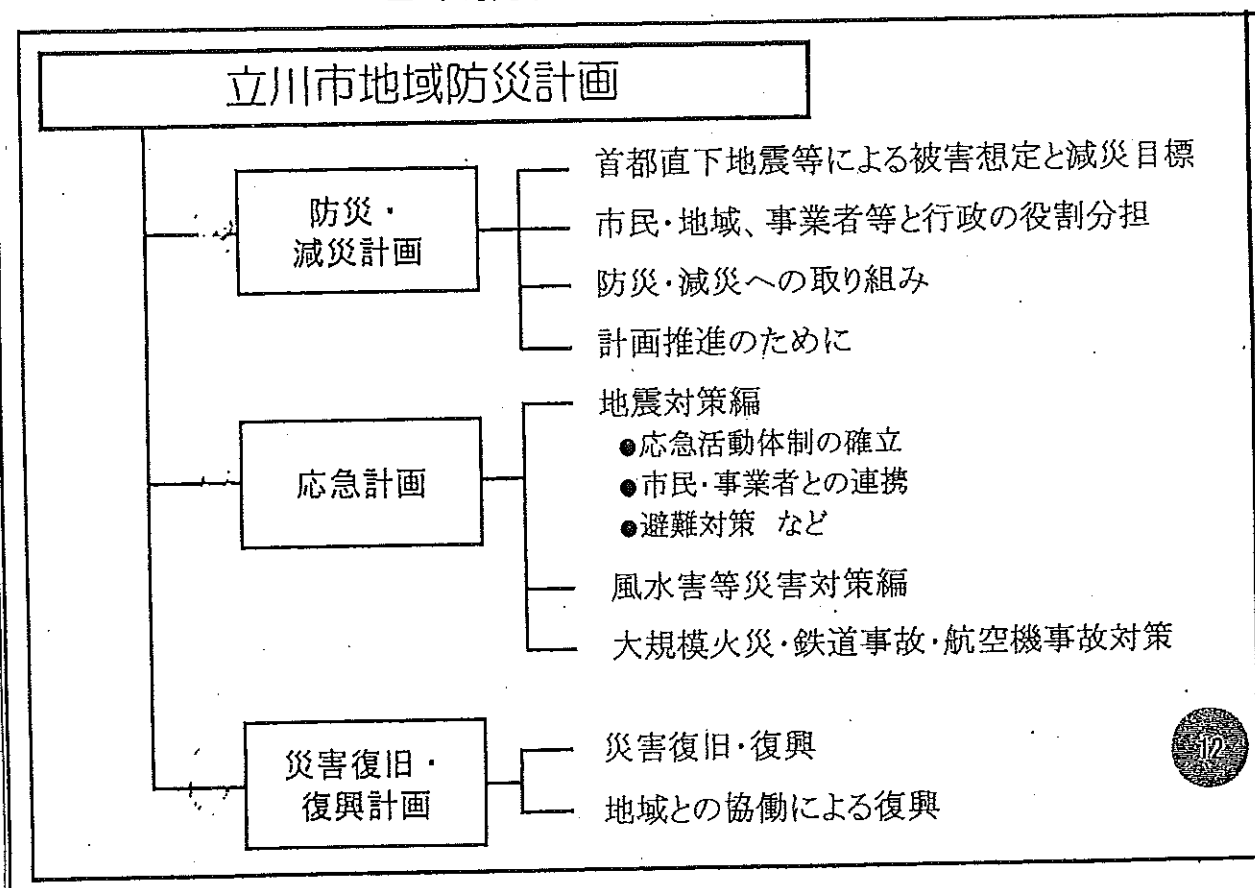
人口 178,384 人世帯数 85,284 世帯 面積 24,38 k m²の立川市は、立川断層帯が通り平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では震度は本震、余震共に震度 4 を計測し地震発生確立が、更に高くなっている可能性がある。

地域防災計画はH19～26 年度までの 8 ヶ年計画を策定し、H26 年度に見直しを実施、

見直しの視点としては

- 1 災害が起きても被害を軽減させる「減災」の視点
- 2 市民、地域、事業者、行政が自助、共助、公助の適切な役割分担に基づき連携、協働する仕組みづくり
- 3 H19 年～26 年度迄の 8 ヶ年計画の中での問題点としている。

地域防災計画の全体像



2 計画に対する市民との連携

防災モデル推進事業を実施

市、市民、地域、事業者との連携、協働

災害が発生しても被害を最小限にする為「自助」、「共助」「公助」の仕組みをつくる

平成 19 年度から、防災モデル地区推進事業を進める、

内容としては「地域協働の防災体制づくり」として実際にまちを歩いて点検し 防災まちづくりの点検マップを作成

「避難所開設、運営の仕組みづくり」

避難所ごとに運営組織、マニュアルづくりを行う

「災害時要援護者支援制度」

事前に把握し、災害発生に安否確認避難誘導等の適切な救援活動を行う

※ 現在 33,7%で、個人情報等の点で進めにくいとの事)

「防災リーダー育成」

毎年 7 月に、市民防災組織を対象とした「普通救命講習会を実施

「地域防災訓練と立川市総合防災訓練の実施」

12 支部で地域防災訓練と市で総合防災訓練を行う

これからの運営組織として、自治会、事業所、商店街、民生委員、PTA 学校職員、立川市等が連携する。

3 今後の課題

- 1 市民防災組織率 56% である、この組織率の向上
- 2 女性の視点からの防災計画
- 3 ペット対策
- 4 防災時のアレルギー食対策
- 5 ツイッター等 SNS の活用
- 6 トリアージの訓練
- 7 避難所運営組織の向上

4 所見

全国の自治体が平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により防災計画の見直しがなされているが立川市では、それ以前から市民と共に防災計画が実行に移されている点は、評価出来る。又その後の見直しも迅速に進められているには本市も見習うべきと思った。

又毎年、防災訓練が地域別、総合と常に市民と行政危機意識を持って行なわれている点は本市も再検討すべきと感じた。

又立川市が防災組織の中に社会福祉協議会の組織が入っていない点はいかながなものかと感じた。

会派 自由民主党 絆 行政視察復命書

議員名【 前川 祥子 】

◆視 察 日：平成 25 年 7 月 3 日（水）

◆視 察 先：農林水産省・国土交通省

◆調査項目：政府要望

9：00 金子事務所集合

9：10 国土交通委員長室にて金子議員と面会

9：40 農林水産省生産局長 佐藤一雄様に対して

・施設園芸補助金の嵩上げの継続についての要望

・熊本県八代地域い産業を守る対策に関する要望

・生姜の臭化メチル代替農薬開発についての要望

10：00 農林水産省農村振興局長 實重重実様に対して

・八代平野における農業農村整備事業の促進についての要望

10：30 国土交通省技監 菊川滋様に対して

・球磨川総合水系環境整備事業等についての要望

・球磨川水系川辺川砂防事業の促進についての要望

・球磨川水系治水対策の促進についての要望

10 : 45 国土交通省港湾局官房審議官 竹田浩三様に対して

(港湾局長 山縣宣彦様は出張中)

・中九州の海上輸送拠点「八代港」の整備促進についての要望

11 : 00 国土交通省水管理・国土保全局長 足立敏之様に対して

・大鞘川河川改修事業の促進についての要望

・八千把・松高地区（古閑排水区）における浸水対策事業についての要望

以上、10 件を農林水産省、国土交通省の担当課に要望し、前向きな答弁をいただいた。